

学内者向け



学外から電子資料を利用する (リモートアクセス)

本学で契約中の電子ブック、電子ジャーナル、データベースなど電子資料の一部は、学内で設定・申請などを行うことで、学外からでも利用できるようになります。

学会・出版社によって、設定方法が異なりますので、ご注意ください。



●設定方法の種類

①～⑤の設定は、**学内LANに接続された端末**（LCセンター1階や大学常設のパソコンや学の無線LANに接続されたノートパソコン、スマートフォン等）から行います。

種類	対象となる電子資料
①個人アカウントを登録	(電子ブック) Maruzen eBook Library (電子ブック) EBSCO eBooks
②個人アカウント登録 +LCセンターへメールで利用申請	(電子ジャーナル) Science Directトランザクション
③個人アカウント登録 + 機器のペアリング	(電子ジャーナル) APS PROLA (電子ジャーナル) IEEEExplore
④機器のペアリング	(データベース) MathSciNet
⑤Google CASA (Google Scholarに Googleアカウントでログイン)	(電子ジャーナル) ACS Core Plus (電子ジャーナル) APS PROLA (電子ジャーナル) AIP Digital Archive (電子ジャーナル) The ECS Digital Library (電子ジャーナル) Royal Society of Chemistry (電子ジャーナル) Taylor & Francis Onlineバックファイル (電子ジャーナル) 応用物理学会 英文論文誌
⑥LCセンターにメールで利用申請	(電子ジャーナル) 電子情報通信学会通信ソサエティ 技報アーカイブ (電子ジャーナル) 日本建築学会論文等検索システム (電子ジャーナル) 土木学会

電子資料ごとの設定ガイドを入手する

①電子資料の学外アクセス設定方法は、LCセンターのホームページで公開しています。

LCセンター



<https://library.nit.ac.jp/>



②LCセンターホームページのメニュー「資料を探す」から、データベース、電子ジャーナル、電子ブックのいずれかを選択し、出版社一覧を表示させます。

本学で契約している【学内限定】サービスのうち、学外から利用可能なサービスの場合は、学外利用マニュアルや学外設定ガイドが添付されていたり、サービス内容に記載があります。内容をご確認頂き、各自設定してください。

例) 電子ブック「Maruzen eBook Library」

資料を探す

電子ブック

2018年10月1日より、学外からも利用できるようになりました。
学外利用には、登録が必要です。詳細は [Me!学外利用マニュアル.pdf](#)

Maruzen eBook Library リモートアクセスの利用方法

1. 学内LAN接続の端末 (LCセンター1階の学生用PCなど) を用意。
2. LCセンターのホームページ (<http://lib.nit.ac.jp/>) にアクセス。
3. 「情報検索」→「電子書籍」の順にアクセス。
4. 「Maruzen eBook library」をクリック

Google CASAを使ったアクセス方法

学内LANに接続された端末から、ご自身のGoogleアカウントでGoogle Scholarにログインして頂くと、学外からGoogle Scholar経由で本学で契約している電子ジャーナルの論文を読むことができるサービスです。

設定方法、設定後の利用方法は、学会・出版社によって異なります。学外設定ガイドをご確認ください。

<https://scholar.google.com/>

ログイン